



|              |                                                                                                                                                 |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Title        | Essays on Empirical Analysis of Collusion in Procurement Auction                                                                                |
| Author(s)    | 石井, 利江子                                                                                                                                         |
| Citation     | 大阪大学, 2009, 博士論文                                                                                                                                |
| Version Type |                                                                                                                                                 |
| URL          | <a href="https://hdl.handle.net/11094/49356">https://hdl.handle.net/11094/49356</a>                                                             |
| rights       |                                                                                                                                                 |
| Note         | 著者からインターネット公開の許諾が得られていないため、論文の要旨のみを公開しています。全文のご利用をご希望の場合は、<a href="https://www.library.osaka-u.ac.jp/thesis/#closed">大阪大学の博士論文について</a>をご参照ください。 |

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

|               |                                                                                       |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 氏 名           | 石 井 利 江 子                                                                             |
| 博士の専攻分野の名称    | 博 士（経済学）                                                                              |
| 学 位 記 番 号     | 第 2 2 6 5 7 号                                                                         |
| 学 位 授 与 年 月 日 | 平成 21 年 3 月 24 日                                                                      |
| 学 位 授 与 の 要 件 | 学位規則第 4 条第 1 項該当<br>経済学研究科経済学専攻                                                       |
| 学 位 論 文 名     | Essays on Empirical Analysis of Collusion in Procurement Auction<br>(公共入札における談合の実証分析) |
| 論 文 審 査 委 員   | (主査)<br>教 授 青柳 真樹<br>(副査)<br>教 授 小川 一夫 教 授 大竹 文雄                                      |

## 論文内容の要旨

本論文は日本国内の自治体が主催する公共工事の入札における入札者間の談合の問題を実証的に分析したものである。これまでの入札談合の実証分析は海外の事例について海外の研究者がおこなったものが主であり、しかも入札額の分布が競争的均衡と整合的であるかを検証する分析が主であった。石井氏の論文では落札者の時系列的な並び、あるいは入札額の分布ではなく値そのものが談合とどういう関連を持っているのかを明らかにしようとした点で先行研究と異なり、談合分析に新しい視点を与えている。論文は3章よりなり、各章の内容は以下のとおりである。

第1章では那覇市の公共入札のデータを用いて談合が入札者間の「貸し借り」によっておこなわれている可能性を分析している。具体的には関連するすべての企業を2社ずつのペアに分け、それらのペアが同時に参加した入札においていずれかの企業が落札者となった場合にはもう一方の企業が落札した企業に貸しを作ったと考える。このような貸し借りの指標をすべての企業のペアについて作成し、それが実際の落札者の決定をどのくらい説明しているかについて条件付ロジットモデルを用いて分析を行なった。その結果、実際に多くの貸しを作った入札者が落札する可能性が高いという結論が得られた。第2章では談合において落札者の決定に影響を与える可能性のある要因をいくつか想定し、それらの要因のうちどれが有意であるかを分析することによって談合のスキームの推定をおこなっている。具体的には、各入札時点においてそれまでの企業ごとの落札案件の数、落札額の合計、直近の落札時点からの経過時間等を説明変数として導入し、それらが当該入札の落札者をそれだけ説明しているかを条件付ロジットモデルを用いて分析している。大阪茨木市の公共入札のデータを用いた分析では直近の落札時点からの経過時間が長いほど、また過去の落札額合計が低いほどその入札者が落札する可能性が高いことが示されている。第1、2章の分析とも落札に影響を与える談合以外の要因、例えばバックログの受注残高等を留意した慎重な検討がおこなわれている。第3章は前2章とは異なり、入札額と落札額が談合によって受ける影響を分析している。具体的には入札者間の入札前の相互連絡において予定落札価格が伝えられる可能性を考え、その際に連絡ミスが生じないように簡単な数字を落札額として選ぶという仮説に基づいて分析が行なわれている。沖縄県の公共入札におけるデータを用いた分析によれば落札額が予定価格(リザーブ価格)に近い入札案件ほど落札額、入札額の末尾につくゼロの桁数が多いことが示される。

本論文は公共入札における談合という産業組織論の分野で極めて重要な問題についての緻密な実証研究である。独自のアイディアをもとにした分析は先行研究に類を見ない。全体的に完成度は高く、博士(経済学)の授与に値するものと判断する。